

平成29年度 印西市民アカデミーだより 第17号

第17回 印西市民アカデミー〈11月18日〉

講座 33・34 〈歴史〉

講座名：『近世の人々の楽しみにふれる～古の旅路・三社詣を現代風に味わってみよう～』

講師：印西ふるさと案内人協会 山本 良男氏、小田 芳久氏
鹿嶋ふるさとガイド

会場：香取神宮、鹿島神宮、息栖神社

江戸時代の河川交通は大変重要な役割を持っていて、銚子の鮮魚や醤油などが利根川・江戸川を利用して江戸まで運ばれ、交通の要所には河岸が発達しました。木下河岸には、香取神宮、鹿島神宮、息栖神社の三社詣のための「木下茶船」と呼ばれる船があり、1778～1789年にかけては、年間4000艘余の茶船が出ていたそうです。残念ながら現在は木下河岸も茶船もないため、バスで利根川沿いを走りながら三社詣を体験しました。

初めに立ち寄ったのは、香取神宮。創建は、神武18年。本殿の屋根は、檜皮葺、黒漆を基調とした色合いに極彩色で彩りを加え、御神威の大きさを感じます。



香取神宮の拝殿

次は、茨城県鹿嶋市にある鹿島神宮。創建は、神武元年（紀元前660年）。1634年、徳川頼房公が奉納した楼門は日本三大楼門の一つとして有名です。



鹿島神宮の禊の場の御手洗池

最後は、息栖神社。創建は、応神天皇の時代と言われている。807年に現在地に移転。一の鳥居の左右にある男鳥居、女鳥居の下から泉が湧き出している「忍潮井」は、日本三霊水の一つとして有名です。



水の澄んだ日にしか姿を現さない瓶

心配された雨も20期生の熱意におされ小康状態で充実した一日を過ごすことができました。

木下街道膝栗毛を体験

11月12日、地域活動課程8名が、印西ふるさと案内人協会主催の「木下街道膝栗毛」の運営スタッフとして、一般参加者と関係者約80名の団体を安全に誘導しながら円滑なイベント運営に貢献しました。



出発前の記念撮影

午前中は、室町時代に建立された本埜地区角田にある永福寺薬師堂を見学。今年は33年に一度の御



雲一つない澄み切った青空

本尊の薬師如来像の開扉にあたり、稚児行列も行われるなど大勢の人で賑わっていました。

午後は、印旛地区松虫にある松虫寺を見学。この寺の薬師堂の後方には、聖武天皇の第三皇女「松虫姫」の墳があります。また、平安末期に造像されたと考えられている木造薬師如来坐像1軀と木造薬師如来立像6軀が国重要文化財に指定されています。説明の中で、この松虫地区が関東地区の養蚕業の発祥の地であるという話には興味津々で聞き入ってしまいました。



松虫姫をまつったお社

第18回の予定

■期日：12月 2日（土）10:00～15:30

◇講座35 〈健康〉

講座名：『健康と食のバランス』

講師：馬場 明四郎氏

会場：本埜公民館 10:00～12:00

◇講座36 〈人権〉

講座名：『みんなが幸せに暮らすために～男女共同参画社会を学ぶ～』

講師：川村学園女子大学 教授 内海崎 貴子氏

会場：本埜公民館 13:30～15:30

